情報発信チームだより　vol.9

タカステナブル通信

タカステナブルとは、鷹栖町独自のサステナブルな取り組みのことです

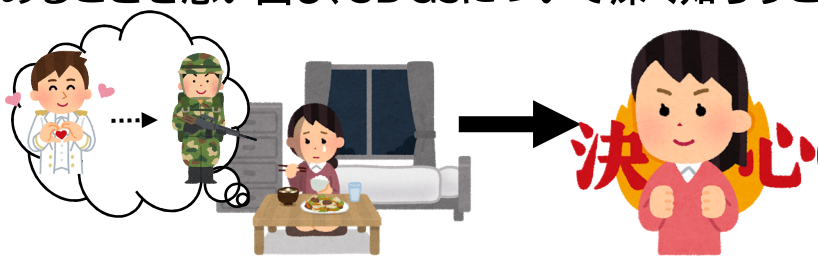
第9回目は、今までとは違った切り口で、SDGsを身近に感じられるような「SDGsへの入り口」の一例をご紹介します。

×

文章と構成は
地域おこし協力隊インターン
進藤帆夏が作成しました
（推しはSEVENTEENウォヌ）

SDGsを理解するための入り口は思わぬところに…

SDGsが国連で採択されたのは2015年。義務教育の真っただ中であった私は、SDGsとともに青春を歩んできたといっても過言ではありません。しかしSDGsへの理解が深まり、その概念を身近に感じるようになったのは、今年からです。**きっかけは「推しが兵役に行く」**ことでした。韓国には、“徴兵制”があります。韓国と北朝鮮の間で1950年に始まった朝鮮戦争が今もなお休戦状態にあるためです。つまり、推しが韓国人である限り、この悲しみからは解放されず、韓国ブームが続く限り、この悲しみを抱える人の母数は増えていく…そのことに気付いたとき私の中に、世界平和実現への強い責任感が生まれました。同時に**SDGsの目標の1つに、平和と公正についての目標があることを思い出し、SDGsについて深く知ろう**と思うきっかけとなりました。



ただいま
目標　7/100件!!
ご協力お願いします

【秒でSDGs】
1秒以内にできるSDGsをご紹介！
・セイコーマートで「北海道」とつくアイスを選ぶ
・「タカステナブル！」を口癖にする
・節水＆節電　　・紙ストローを我慢して使う
・右のシステムに登録する

CO_2排出算定システム
登録のお願い

アカウント登録

「みんなの算定」エラ